

横田英史の 書籍紹介コーナー



技術屋の王国－ホンダの不思議力

片山修

東洋経済新報社 2,160円(税込)

足歩行ロボットのASIMOやホンダジェットの開発を通して、ホンダらしさの源泉を明らかにしたノンフィクション。上質な開発物語に仕上がっている。ホンダ幹部へのインタビューだけではなく、現場技術者への丹念な取材に裏打ちされた内容で好感がもてる。全体に、著者のホンダへの食い込みぶりがよく分かる。

ASIMOにもそれなりのページを割いているが、本書のメインは「空飛ぶ自動車に30年以上挑戦した」「30年間も1円の利益をあげない開発を続けた」ホンダジェットである。ジェット機本体だけではなく、エンジンの開発も一から始めた航空機開発プロジェクトの大変さが伝わってくる。ホンダが多くの航空(宇宙)工学科の卒業生を集めていたというのも正直驚きである。ちなみに所々で引用される本田宗一郎の名言の数々は、実にいいアクセントになっている。

サルたちの狂宴(上)(下)

アントニオ・ガルシア・マルティネス

石垣賀子・訳

早川書房 2,052円(税込)

ゴールドマン・サックスから中堅スタートアップ企業に転じ、スタートアップの創業を経てFacebookの社員として働いた日々を綴ったノンフィクション。シリコンバレーの経営者や技術者、ベンチャーキャピタリスト、エンジェル、技術

メディアなどの実態を生々しく語る。筆者はゴールドマン・サックスを経て、シリコンバレーに飛び込んだ物理学専攻の元クオンツ。

上巻では、スタートアップ経営の実際、ベンチャーキャピタルのYコンピネーターの仕組み、古巣との法廷闘争、社員となってわかったFacebookの内実などのエピソードがテンポよく展開し飽きない。下巻では、Facebookに転職してプロダクト・マネージャとして広告チームを率いた苦労話を主に紹介する。ありがちなシリコンバレーでの成功物語からは感じられない人間臭いエピソードが本書の魅力だ。

宇宙ビジネスの衝撃－21世紀の黄金をめぐる新時代のゴールドラッシュ

大貫美鈴

ダイヤモンド社 1,728円(税込)

JAXA出身のコンサルタントが、宇宙ビジネスの現状と将来を論じた書。うまく現状が整理されている。情報が多いとはいえない宇宙ビジネスをざっと捉えるのには便利である。ちなみに宇宙ビジネスの市場規模は2005年の17兆円が2016年には33兆円と2倍に拡大したという。

テスラやアマゾン、フェイスブック、グーグルといったシリコンバレーを中心とした企業、イーロン・マスクやジェフ・ベゾスといった経営者がなぜ宇宙に入れ込むのか、筆者は背景を解説する。例えばこれらの企業にとって宇宙は

インターネットの延長である。宇宙にもネットワークを張り巡らせることで、「地球のビッグデータ」の入手をねらう。IoTやAIの今後の展開の対象として宇宙を考える。

このほか宇宙旅行や火星への移住、小惑星での希少鉱物資源の開発についての計画の数々についても言及する。

知ってるつもり～無知の科学～

スティーブン・スローマン、

フィリップ・ファーンバック

土方奈美・訳

早川書房 2,052円(税込)

人間は自分が考えているよりも「ずっと物を知らない」。しかも無知だという自覚に乏しい。個々の人間は不合理な判断を下し、浅はかな行動をとりかねない。こんな欠陥を抱える人間が、なぜ社会としてうまくやれているのかという疑問に、認知科学者が答えた書。

人間は必要な情報だけを抽出し、詳細な内容は忘れる。詳細は、自分の外部に存在する「知識のコミュニティ」に委ねる。人間は認知的活動を分担することに長けている。もっとも、外から入手できる知識と頭の中にある知識を混同し、たいてい人は自分がどれだけ物を知らないかに気づかない。社会の問題の多くはこの錯覚に起因する。

筆者は知的謙虚さを高めるコツに言及するが、人間は自分が間違っていると分かると、新たな情報を求めることに消極的になる。誰もが有能だと錯覚したままでもいいのだ。

横田 英史 (yokota@nikkeibp.co.jp)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。

川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マグロウヒル(現日経BP社)に入社。

日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現ITPro)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。

2004年11月、日経バイト発行人兼編集長。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、

2016年日経BPソリューションズ代表取締役役に就任。2018年3月退任。

2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組み込み制御、知的財産権、環境問題など。

*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する企業の見解とは関係がありません。